

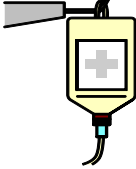


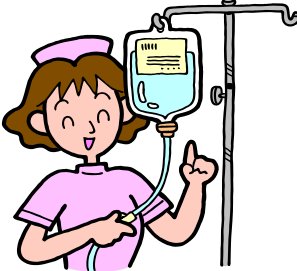



突発性難聴で入院をされる _____ 様へ



担当医師



看護師

月日 経過	(/) 入院日	(/) ~ (/) 2日目 ~ 8日目	(/) 退院日
 薬と点滴	現在内服している薬があれば、お伝えください。 継続するか医師に確認します。 循環改善薬と胃薬が処方されます。 入院後より9日間、アルプロスタジル(循環改善薬)・ステロイドの点滴が行われます。(医師の判断で循環改善薬の点滴は投与されないことがあります。)	点滴は午前中に開始し、2~3時間で終了します。 アルプロスタジルは初日から5日間投与します(/)~(/) ステロイド60mgは初日から3日間投与します(/)~(/) ステロイド40mgは3日間投与します(/)~(/) ステロイド20mgは3日間投与します(/)~(/) ※ステロイドは3日間ごとに減量していきます。	朝、点滴終了後に点滴の針を抜きます。 退院時、内服薬が処方されます。
 検査・処置		毎朝医師にて診察があります。 聴力検査が1~2回行われます。 ※検査日がわかりましたら、お知らせします。	次回の外来予約が入ります。
 食事	特に制限はありません。(持病で医師より食事制限がある場合を除く。)		
 行動	特に制限はありません。		
 ご説明、看護	入院オリエンテーションをいたします。 入院中の経過について看護師から説明を行います。	検温の時間に体温・脈拍・血圧を測定し、耳の症状などを観察します。 シャワー時は点滴の針が濡れないように、ビニール袋で保護しますのでお知らせ下さい。 アルプロスタジル投与中は、血管痛が出現する可能性があります。 ステロイドの副作用には、胃部不快感、火照り感があります。出現しましたらすぐにお知らせください。	医師の判断により、治療継続になることがあります。

上記のスケジュールにそっての入院生活になる予定です。予定は変更になる場合があります。ご不明な点は、遠慮なくお尋ねください。

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得ることがあります。

注2) 入院期間については、現時点で予測されるものです。